

# 正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2016年11月25日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

## タイトル

# やさしい電子物性

## 正誤対象

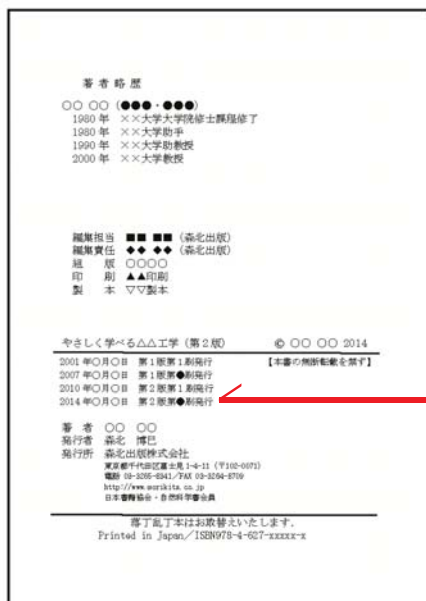
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 4 までをご参照ください
2	対応刷数 2 より 4 までをご参照ください
3	対応刷数 3 より 4 までをご参照ください
4	対応刷数 4 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

## 刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1	25	下から9行目	$= -\frac{1}{2m} \hbar^2 \frac{d^2}{dx^2} \{ \phi(x)e^{-j\omega t} \} + V(x)\phi(x)e^{-i\omega t}$	$= -\frac{1}{2m} \hbar^2 \frac{d^2}{dx^2} \{ \phi(x)e^{-i\omega t} \} + V(x)\phi(x)e^{-i\omega t}$
1	26	式(5.7)	$\phi(x) = Ae^{\alpha x} + Be^{-\alpha x}$	$\phi(x) = Ae^{\alpha i x} + Be^{-\alpha i x}$
1	26	下から1行目	…ただし, $A, B$ は任意の定数である. $\alpha$ および $-\alpha$ は, …	…ただし, $A, B$ は任意の定数である. <u><math>\alpha i</math></u> および <u><math>-\alpha i</math></u> は, …
1	27	式(5.8)	$\alpha = \frac{\sqrt{2mE}}{\hbar} i$	$\alpha = \frac{\sqrt{2mE}}{\hbar}$
1	31	表 6.1 水素結合 - 代表的な例	H <sub>2</sub> Oの結晶, NH <sub>4</sub> HF <sub>2</sub> 結晶など	H <sub>2</sub> Oの結晶, NH <sub>4</sub> , <u>HF<sub>2</sub></u> 結晶など
4	42	例題 7.2 の 2行目	… $k = \pi/2$ …	… $k = \pi/a$ …
1	54	表 9.1 左下	ステンレスガスチール	ステンレススチール
1	71	7~8行目	$-\frac{1}{2m} \hbar^2 \frac{d^2}{dx^2} \phi(t) + V(x)\phi(t) = E\phi(t)$ を用いて考えられる. 自由電子の場合は, $V(\mathbf{r})$ がゼロの場合で, エネルギー $E$ は,	$-\frac{1}{2m} \hbar^2 \frac{d^2}{dx^2} \phi(x) + V(x)\phi(x) = E\phi(x)$ を用いて考えられる. 自由電子の場合は, $V(x)$ がゼロの場合で, エネルギー $E$ は,
3	79	10行目	電子は下方に力を受け, 下方に向かう. その結果, 下側に電子がたまり, $z$ 方向に電位差を生じる.	電子は上方に力を受け, 上方に向かう. その結果, 上側に電子がたまり, $z$ 方向に電位差を生じる.
1	87	式(14.5)	$dn = \left\{ \int \int f(p)N(p)dp_y dp_z \right\} dp_x$	$dn = \left\{ \int \int f(p)N(p)dp_y dp_z \right\} dp_x$

1	89	図 14.2	右図を参照	
1	91	式(14.18)	$\Phi = V_0 - eE_x$	$\Phi = V_0 - \underline{eEx}$
1	91	式(14.19) 下の式	$\left(\frac{\hbar^2}{2m}\right)\left(\frac{d^2\phi}{dx^2}\right) + (E - V_0 + eE_x)\phi = 0 \quad (x > 0)$	$\left(\frac{\hbar^2}{2m}\right)\left(\frac{d^2\phi}{dx^2}\right) + (E - V_0 + \underline{eEx})\phi = 0 \quad (x > 0)$
1	91	図 14.4	図中央 $\Phi = V_0 - eE_x$	$\Phi = V_0 - \underline{eEx}$
1	95	図 15.1	右図を参照	
1	97	式(15.5)	$E_i = E + \frac{P}{3\epsilon_0} = \frac{1}{3}(\epsilon_r + 2)E$	$E_i = E + \frac{P}{3\epsilon_0} = \frac{1}{3}(\epsilon_r + 2) \underline{E}$ <span style="margin-left: 2em;"><math>E</math>を太字にする</span>

1	100	図 15.5 (b)	右図を参照	
1	102	図 15.7 (a)(b)	右図を参照	<p>(a) 水分子                      (b) CH<sub>3</sub>Cl分子</p>
1	103	表 15.1	左 2 行目 ポリスチエチレン	ポリスチレン
1	103	表 15.3	左 2 行目 アンモニア (SiO <sub>2</sub> )	アンモニア (NH <sub>3</sub> )
1	105	式(15.26)	$\left( \frac{\epsilon'_r \epsilon_{r_0} + \epsilon_{r_\infty}}{2} \right)^2 + \epsilon_r^{n^2} = \left( \frac{\epsilon_{r_0} - \epsilon_{r_\infty}}{2} \right)^2$	$\left( \frac{\epsilon'_r \epsilon_{r_0} + \epsilon_{r_\infty}}{2} \right)^2 + \epsilon_r^{n^2} = \left( \frac{\epsilon_{r_0} - \epsilon_{r_\infty}}{2} \right)^2$
2	106	図 15.9 縦軸	$\epsilon_r^*$	$\epsilon_r^n$
1	107	式(15.27)	$f = \frac{3(\mu_1 \cdot r)}{\gamma^5} \cdot r - \frac{\mu_1}{\gamma^3}$	$f = \frac{3(\mu_1 \cdot r)}{r^5} \cdot r - \frac{\mu_1}{r^3}$
1	107	式(15.28)	$\dots = \frac{3}{\gamma^5} (\mu_1 \cdot r)(\mu_2 \cdot r) + \frac{\mu_1 \cdot \mu_2}{\gamma^3}$	$\dots = \frac{3}{r^5} (\mu_1 \cdot r)(\mu_2 \cdot r) + \frac{\mu_1 \cdot \mu_2}{r^3}$
2	123	(3)(ii) 1 行目	各電子の軌道角運動量は結合して、(1)と矛盾しない…	各電子の軌道角運動量は結合して、(i)と矛盾しない…
1	128	式(16.22)	$\frac{\chi M}{H} = \dots$	$\chi = \frac{M}{H} = \dots$
2	130	式(16.24)	$M = NgJ\mu_{BJ}(x)$	$M = NgJ\mu_B \underline{B_J}(x)$

2	130	式(16.26)	$M = xk_B T (\gamma g \mu_B J)$	$M = xk_B T (\gamma g \mu_B J)$
4	150	式(F.1)	$mV_0 b a \hbar^2 \rightarrow P$	$\frac{mV_0 b a}{\hbar^2} \rightarrow P$
1	162	8章 8.1 2行目	$f(E) = \frac{1}{e^{\frac{E-E_F}{k_B T}} - 1} = \frac{1}{e^{\frac{0.1}{0.26}} - 1} = 0.41$	$f(E) = \frac{1}{e^{\frac{E-E_F}{k_B T}} + 1} = \frac{1}{e^{\frac{0.1}{0.026}} + 1} = 0.02$
1	162	8章 8.2 3行目	右辺 $= \frac{1}{1 + e^{\frac{0.1[eV]}{k_B T}}}$	$= \frac{1}{1 + e^{\frac{-0.1[eV]}{k_B T}}}$
1	162	8章 8.2 5行目	近では、0.97ほどの値である。さらに温度が上昇すると、400[K]で0.93と室温	近では、 <u>0.98</u> ほどの値である。さらに温度が上昇すると、400[K]で <u>0.95</u> と室温
1	162	8章 8.3 3行目	$f(E) = e^{\frac{E-E_F}{k_B T}}$	$f(E) = e^{\frac{E-E_F}{k_B T}}$